

CASBEE[®]-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2014年版 | 使用評価ソフト: osk_CASBEE-BD_NC_2014(v.1.23)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	日本精線株式会社枚方工場 事務所	階数	地上5F
建設地	大阪府枚方市池之宮4丁目2700番	構造	S造
用途地域	工業専用地域	平均居住人員	122 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2016年3月 予定	評価の実施日	2015年7月14日
敷地面積	116,461 m ²	作成者	株式会社URサポート 林 茂一
建築面積	777 m ²	確認日	2015年7月14日
延床面積	2,757 m ²	確認者	株式会社URサポート 林 茂一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%☆☆☆☆ 60%☆☆☆☆ 80%☆☆☆☆ 100%☆☆ 100%超:★

①参照値 100% (138 kg-CO₂/年・m²)

②建築物の取組み 84% (46 kg-CO₂/年・m²)

③上記+②以外の 84%

④上記+ 84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.1

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 1.8

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.3

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
内装材は全面的にF☆☆☆☆建材を使用、居室面積の1/15以上の自然換気有効開口面積を確保するなど室内環境へ配慮した	天井高=3.0m/階高=4.2m。空間の形状・自由さに配慮し設計。また執務スペースの1%以上のリフレッシュスペースを確保。耐用年数の長い建材等の使用にも配慮した	可能な限り緑地や植栽を敷地内環境へ配慮した
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
高効率設備機器を使用する等省エネルギーへ配慮した	躯体と仕上げ材には容易に分別可能なものを使用、節水に配慮した省水型機器を使用するなど資源へ配慮した	LCCO ₂ を84%に抑えるなど敷地外環境へ配慮した

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム 2015年版

大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H27-0031

Osakafu-新築・既存 2015V1.0

【建物概要】		建物名称	日本精線株式会社枚方工場 事務所棟 新築工事					
		建設地	大阪府枚方市池之宮4丁目2700番 他4筆					
		用途/区分	事務所					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+		
	CO2削減					4		
	省エネ対策					3		
	みどり・ヒート アイランド対策					2		
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	
エネルギー消費量の報告							報告しない	
【評価項目】								
省エネルギー対策		① CO2削減						
		② 省エネ対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.6	4	
② 省 エ ネ 対 策	外皮性能	CASBEE「Q1-2. 1. 2」 のスコアによる評価		建物全体	3.0	3		
	建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価						4.0
	自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価						3.0
	設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価						4.0
	効率的運用	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価						3.0
	水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価						3.4
	エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
みどり ヒートアイランド対策		③ みどり・ヒートアイランド対策						
項目		評価内容				スコア	評価	
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				2.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								